

令和6(2024)年度

学生募集要項

《総合型選抜》



目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	総合型選抜	
1	募集人員	6
2	出願資格	6
3	出願手続	7
4	選抜方法	10
5	合格者発表	14
6	個人別入試成績の開示	14
7	感染症対策に係る本学の対応について	14
III	入学手続、初年度納付金等	
1	入学手続	15
2	初年度納付金	16
3	その他	17
IV	試験会場案内	18

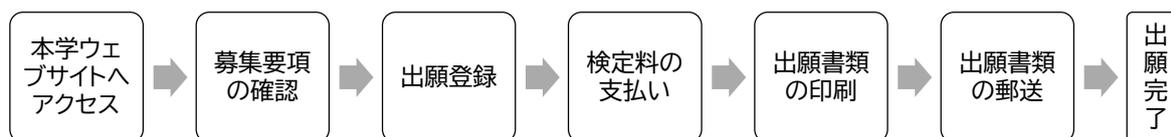
<重要なお知らせ>

新型コロナウイルス感染症の影響により、入試日程や実施方法等が変更される可能性があります。出願の際には、本学ウェブサイトに掲載する最新の情報をご確認ください。

<出願方法（インターネット出願）>

岡山県立大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、パソコン・タブレット・スマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。

インターネット出願を利用することにより、出願期間中は 24 時間いつでも出願登録ができます。なお、調査書等、出願期間中に郵送が必要な書類があるので、ご注意ください。



<総合型選抜に係る日程の概要> ※詳細は、本要項内で必ず確認してください。

事 項	日 程
障害等のある入学志願者の事前相談	令和 5 年 8 月 10 日（木）まで ※受験上及び修学上の配慮を必要とする者のみ
インターネット出願登録及び検定料の支払期間	令和 5 年 8 月 29 日（火）～令和 5 年 9 月 7 日（木）
出願書類提出期間	令和 5 年 9 月 1 日（金）～令和 5 年 9 月 7 日（木）
試 験 日	令和 5 年 10 月 7 日（土）、10 月 8 日（日）
合 格 者 発 表	令和 5 年 11 月 1 日（水）
入 学 手 続 期 間	令和 5 年 11 月 16 日（木）～令和 5 年 11 月 20 日（月）

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

岡山県立大学の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

岡山県立大学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として、平成5年に設立されました。

本学は、建学の理念の実現に向け、人間・社会・自然の関係性を重視した研究と教育を行い、豊かな人間性と教養を兼ね備え、深い専門性をもって主体的に課題発見・解決に取り組むことにより、グローバル化が進展する中、地域社会から広く国際社会において活躍し、新しい時代を切り拓くための能力と意欲を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

本学は、人材育成の方針に基づき、本学での学びに適う能力及び素養を、入学者が備えるべきものとして、以下のとおり定めます。

本学は、学生に高等学校において主体的で継続的な学習により幅広い分野での基礎学力を身につけていることを求めるとともに、これらの知識に基づく論理的な思考力や表現力、基礎的な英語力を含めたコミュニケーション能力ならびに人間性や倫理観などの素養を磨いておくことを求めます。

【入学者選抜の基本方針】

本学は、入学者に求める能力・素養を有しかつ、多様な学生を受け入れるため、以下の選抜の方針を基本として、教育課程ごとに定められた入学者受入れの方針に従い、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜などの入学者選抜の機会を設けます。

総合型選抜では、地域社会の発展に貢献する意欲ならびに主体的学習活動の成果をふまえて多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する調査書と面接を重視し、さらに思考力・判断力・表現力を評価する学力検査による選抜を行います。

なお、各教育課程の入学者選抜における選抜方法及び評価基準については、以上の選抜の方針をふまえた上で、課程ごとの入学者受入れの方針に示されます。

保健福祉学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

保健福祉学部では、地域の人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる保健、医療、福祉、教育に関する幅広い知識と技術を修得し、専門分野に関する課題に対して科学的、論理的思考や分析に基づいて主体的に解決する能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに多様な人々と協働して社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

保健福祉学部の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかりと身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

現代福祉学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

現代福祉学科は、少子高齢社会やグローバル社会といった複雑化する現代社会において生じている多様な社会的、個人的ニーズを科学的に解明し、すべての人々の健康と幸福の増進のために、介護福祉学を含む社会福祉学関連の学問を基盤に、グローバルセンスをもって地域社会や国際社会に能動的、創造的に貢献できるソーシャルワーカー等の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

現代福祉学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い教科における基礎学力、特に「国語」「英語」「地理歴史・公民」などの基礎をしっかりと身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、岡山県内から広く地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語：文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための表現力

社会：地理歴史・公民における基礎的な内容の理解

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力

数学：基礎的な概念・法則の理解及び論理的思考力

理科：基礎的な概念・原理・法則の理解及び自然を総合的に見る能力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【総合型選抜】

個別学力検査等（面接（英語、現代社会、倫理、政治・経済の試問を含む）及び書類審査（調査書＋志望理由書等））により評価します。

面接では、岡山県をはじめ、地域社会や国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。書類審査（調査書等）では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、資格・検定試験の成績、研究活動やボランティア活動の実績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、志望理由書も参考にしながら、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、地域社会や国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に多様な人々と協働して学び続けようとする態度を評価します。また、試問（現代社会、倫理、政治・経済）では、基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

デザイン学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

デザイン学部では、学部の基礎的な共通教育に加えて、各分野の専門教育により、人間・社会・自然の調和を目指したデザインを創造できる能力を身に付け、課題を主体的に発見・解決し、地域・国際社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

デザイン学部では、教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかりと身に付けていることを求めます。さらに、デザインを学ぶ上で基礎となる知識・技能と、これらに基づく論理的な思考力・判断力・表現力、地域や社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

そして、大学で身につけた知識と技能を活かして、岡山県をはじめとした地域や社会の持続的発展に貢献しようとする強い意欲をもつ人を求めます。

ビジュアルデザイン学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

ビジュアルデザイン学科では、様々なメディアを横断する視覚伝達の知識・技能を基盤に、グラフィック・映像各分野の専門性を修得することにより、地域・国際社会の持続的発展に、主体的に寄与するグラフィックデザイナー・映像クリエイターの育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

ビジュアルデザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校などで学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、ビジュアルデザイン各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・提案を進めるために必要な思考力と構成力・表現力を求めます。また、自然・文化・社会のモノ・コトを観察するとともに、その関係を考察する態度、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力

国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力

美術：工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【総合型選抜】

個別学力検査等（与えられた条件（図や文章）を満たす立体物の描写）、及び書類（調査書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では、与えられた条件（図や文章）を満たす立体物を描写することで、立体把

握力と立体構想力、思考に基づく判断力・描写力を評価します。

面接では、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。

書類では、各教科・科目の学力評価、資格・検定試験等の成績、クラブ活動や地域・社会活動の実績、留学等の多様な経験、本学の志望理由や将来展望について評価します。

工芸工業デザイン学科の入学受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

工芸工業デザイン学科では、立体的な造形教育の知識・技能を基盤に、工芸的で緻密なデザイン制作と工業的で合理的なデザイン開発に関わる幅広い知識と技能を学び、産業界や地域・国際社会で活躍でき、また社会の持続的発展に主体性を持って貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

工芸工業デザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校などで学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、工芸工業デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、デザインを進めるために必要な造形力・表現力、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力

国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力

美術：工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【総合型選抜】

個別学力検査等（鉛筆デッサン）、及び書類（調査書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では鉛筆デッサンを課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接では、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。

書類では、各教科・科目の学力評価、資格・検定試験等の成績、クラブ活動や地域・社会活動の実績、留学等の多様な経験、本学の志望理由や将来展望について評価します。

建築学科の入学受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

建築学科では、建築設計を中心にインテリアから地域計画に至るまで、建築に関わる幅広い知

識と高度な技能を修得し、建築設計分野で国際・地域社会の持続的発展に、主体的に寄与する建築家や建築分野の専門家の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

建築学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校などで学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、コミュニケーション能力、数理的・論理的な思考力と表現力、自然・文化・社会についての基礎的な知識を求めます。

また、建築デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・設計を進めるために必要な空間構想力を求めるとともに、現実の建築や空間・都市を持続的に観察し、人間の行動や心理を考察する態度、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語：コミュニケーション、文章読解、文章表現に必要となる英語力の長期的な学習を見据えた基礎学力

国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断を正しく伝えるための文章構成・表現力

数学：数理的な基礎能力と、論理的に解を導き出す思考力

理科・地歴・公民：基礎的な学習内容の理解

美術：立体・空間の構成力と表現力

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【総合型選抜】

個別学力検査等（与えられた条件〈図や文章〉を満たす図形の作図）、及び書類（調査書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では、与えられた条件（図や文章）を満たす図形を作図することで、空間や立体物等の把握力・構想力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

面接では、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。

書類審査では、各教科・科目の学力評価、資格・検定試験等の成績、クラブ活動や地域・社会活動の実績、留学等の多様な経験、本学の志望理由や将来展望について評価します。

Ⅱ 総合型選抜

1 募集人員

(人)

学 部	学 科	入学定員	左のうち総合型選抜募集人員
保健福祉学部	現 代 福 祉 学 科	35	5
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	30	4
	工芸工業デザイン学科	30	4
	建 築 学 科	30	4

(注1) 学生募集は、この総合型選抜のほか、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試及び一般選抜（保健福祉学部では前期日程及び後期日程、デザイン学部では前期日程）により行います。

(注2) 保健福祉学部現代福祉学科では、社会福祉学コース（定員上限無し）か、介護福祉マネジメント学コース（定員上限10人）から一つ、1年次の後期に希望するコースを選択してもらいます。社会福祉学コースでは、所定の科目を履修することにより、卒業時に社会福祉士国家試験受験資格が得られます。さらに、社会福祉士国家試験受験資格と並行して、10人を上限に、所定の科目を履修することにより、卒業時に精神保健福祉士国家試験受験資格が得られます。これとは別に、社会福祉士国家試験受験資格と並行して、10人を上限に、所定の科目を履修することにより、日本ソーシャルワーク教育学校連盟により、スクールソーシャルワーカーの認定資格が得られます（ただし、社会福祉士国家試験に合格する必要があります）。介護福祉マネジメント学コースでは、所定の科目を履修することにより、卒業時に介護福祉士国家試験受験資格が得られます。

2 出願資格

次の(1)、(2)、(3)のいずれかに該当し、かつ(4)に該当する者とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者（「高等専門学校第3学年を令和6年3月修了見込みの者」及び「特別支援学校の高等部を令和6年3月卒業見込みの者」を含む。）
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、出願に先立ち本学の入学資格の認定を受ける必要があります。詳しくは本学教学課入試班へお問い合わせください。

- (4) 各学部（又は学科）が定める次の要件に該当する者

学 部	学 科	要 件
保健福祉学部	現 代 福 祉 学 科	本学での勉学及び地域社会や国際社会における諸活動への参加に強い意欲があり、合格した場合必ず入学することを確約できる者
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	本学での勉学に強い意欲があり、合格した場合必ず入学することを確約できる者
	工芸工業デザイン学科	
	建 築 学 科	

3 出願手続

(1) 出願方法

出願は、インターネット出願（インターネットによる出願登録、検定料支払い及び出願書類の郵送）のみとします。本学ウェブサイトに掲載している「インターネット出願ガイド」をよく読んで出願手続を行ってください。

インターネットによる出願登録及び検定料支払いが完了したら、(4)の出願書類等を一括して角形2号（縦 332mm×横 240mm）の封筒に入れ、簡易書留速達扱いの郵送により提出してください。

ただし、(2)の出願期間最終日に限り、直接持参を認めます。なお、受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに、本学教学課入試班までご連絡ください。

出願時に海外に在住する者は、本学から書類を送付するための「日本国内の連絡先」を設定してください。（日本国内の連絡先がない場合は、この限りではありません。）

(2) 出願期間

インターネット出願登録 及び検定料の支払期間	令和5年8月29日（火）から令和5年9月7日（木）まで
出願書類提出期間	令和5年9月1日（金）から令和5年9月7日（木）まで【必着】

(注1) 9月7日（木）17:00 になるとインターネット出願登録及び検定料の支払いはできません。

(注2) 9月8日（金）以降に到着したものは、9月6日（水）までの発信局消印のある「簡易書留速達郵便」に限り有効とします。

なお、上記の「発信局消印」とは日本国内の郵便局消印を指しますので、外国から郵送する場合は、出願期間中に本学に到着するよう所要日数を十分に考慮して発送してください。

(注3) 出願書類の到着確認の問い合わせについては、本学では回答できません。配達状況は、日本郵政のウェブサイト等の郵便追跡サービスの利用又は郵便局へのお問い合わせによりご確認ください。

(3) 出願先

〒719-1197 岡山県総社市窪木1-1-1番地 岡山県立大学事務局教学課入試班

(4) 出願書類等

出願に必要な書類等	作成方法
志願票（原票）	<p>インターネットでの出願登録及び検定料の支払いが完了したら、「インターネット出願ガイド」を参照のうえ印刷し、提出してください。 出願時に海外に在住する者は、現住所（連絡先）は設定された「日本国内の連絡先」を記入してください。</p>
志望理由書	<p>本学所定の様式を本学ウェブサイトからダウンロードし、（注）をよく確認した上で必要事項を漏れなく記入してください。（A4片面印刷）</p>
調査書	<p>文部科学省所定の様式により出身（所属）高等学校等の学校長が、出願年度の4月1日以降に作成し、厳封したもの。 高等専門学校第3学年修了等（見込みを含む）の調査書については、次のとおりとします。</p> <p>① 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者については、出身学校において文部科学省所定の調査書に準じて作成した書類をもって調査書に代えることができます。</p> <p>② 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者については、修了（見込）証明書、資格証明書又は当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>③ 高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む。）については、当該試験の合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>※ 指導要録の保存年限を経過しているなどの事情により、調査書が得られない場合は、次の書類を提出してください。</p> <p>ア 卒業後5年を経過した場合 卒業証明書及び成績証明書（又は単位修得証明書）</p> <p>イ 卒業後20年を経過した場合 卒業証明書、成績通信簿の写しその他入学志願者が提出できる書類</p> <p>ウ 廃校、被災その他の事情により調査書が得られない場合 卒業証明書、成績通信簿の写しその他入学志願者が提出できる書類</p> <p>なお、これらの書類を提出できない場合は、学校長等が作成した「調査書等を発行できない旨の証明書」を提出してください。</p>

（注1） 出願書類のうち、外国語（英語を除く。）で書かれた証明書には、その日本語訳を添付してください。

（注2） 外国の学校が発行した証明書の原本の返却を希望する者は、出願書類等を提出する際にその旨を申し出てください。原本を本学でコピーして返却します。

(5) 検定料

① 検定料

17,000円

② 支払方法

インターネット出願の手順に従い、所定の支払方法から検定料の支払を行ってください。支払方法は以下のとおりです。なお、各種支払にかかる手数料は、入学志願者の負担となります。

ア コンビニエンスストア払い

イ クレジットカード決済

ウ 銀行ATM（ペイジー支払い対応銀行）／ネットバンキングでの支払

③ 納付期間

令和5年8月29日（火）から令和5年9月7日（木）16:59まで

④ 検定料の返還

納付された検定料は、次のアからウまでの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は検定料相当額とします。検定料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は本学教学課入試班へ連絡し、**令和5年10月31日（火）までに必要な手続をとってください。**イの場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

ア 検定料を納付したが、出願しなかった場合

イ 検定料を納付したが、出願が受理されなかった場合

ウ 検定料を誤って二重に納付した場合

⑤ 特例措置

東日本大震災又は平成30年7月豪雨の被災者に対する検定料全額免除の特例措置があります。検定料減免を希望する場合は、**出願登録前に必ず**本学教学課入試班へ連絡し、**出願期間前に必要な書類を提出してください。**詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

(6) 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、**令和5年8月10日（木）までに**、本学教学課入試班へ連絡し、相談してください。なお、受験上及び修学上の配慮事項についての決定通知があるまでは出願登録しないでください。相談の内容によっては、対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので、**できるだけ早い時期に相談してください。**

申請にあたっては、「岡山県立大学入学者選抜試験の出願に関する協議書」を作成のうえ、必要書類を添付し、本学教学課入試班へ郵送により提出してください。詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

(7) 出願手続上の注意事項

- ① 出願期間内に、出願に必要な書類を提出し、本学で書類に不備がないことが確認されることにより、出願受付完了となります。出願に必要な書類等の全てがそろっていない場合は受付できませんので十分確認してください。
- ② 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願受付後に出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更がある場合は、**本学教学課入試班へ連絡してください。**
- ④ 受付をした出願書類は返還しません。
- ⑤ 出願時に海外に在住する者で「日本国内の連絡先」を設定した者への書類は、当該連絡先に送付します。

4 選抜方法

(1) 試験日

① 保健福祉学部現代福祉学科

・令和5年10月7日(土)又は令和5年10月8日(日)のうちいずれか指定する一日

② デザイン学部各学科

・令和5年10月7日(土)又は令和5年10月8日(日)のうちいずれか指定する一日
もしくは、
・令和5年10月7日(土)及び令和5年10月8日(日)の両日
※両日の場合は、個別学力検査を二日間に分けて実施予定です。

(注) 出願者数が確定した後に、各学科の試験日を決定します。

決定した試験日は、受験票印刷が可能になった後に、受験票で確認してください。

(2) 時間割

学 部	学 科	時 間 割					
		(集合) 9:40	(試験開始) 10:00	(試験終了) 12:00	(集合) 12:40	(試験開始) 13:00	(試験終了) 17:00
保健福祉 学 部	現 代 福 祉 学 科		面 接			面 接	
			終了者控室で待機				
デザイン 学 部	ビジュアル デザイン学科		実 技			面 接	
	工 芸 工 業 デザイン学科		実 技			面 接	
	建 築 学 科		実 技			面 接	

(注1) 受験者は、上記の集合時刻までに指定された試験室(面接にあつては面接控室)に入室し、着席してください。試験室及び面接控室は、試験会場の掲示により指定します。

(注2) 試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。

(注3) 保健福祉学部現代福祉学科の面接は、受験者を午前の部(10:00~12:00)、午後の部(13:00~17:00)の2組に分けて実施する予定です。面接が午後の部となる受験者には、試験開始時刻が、「13:00」と表示された受験票が印刷されます。

(注4) 実技の試験開始後は、終了するまで試験室から退室できません。面接については、試験開始後40分経過しなければ、面接終了者控室から退室できません。ただし、保健福祉学部現代福祉学科の面接が午前の部の受験者は、面接終了後、午後の部の受験者の集合時刻(12:40)までは、当日指定する面接終了者控室で待機してください。

なお、午後の部の受験者の集合状況によっては最大で13:30まで面接終了者控室で待機していただきますので、必要に応じて昼食を持参し、面接終了者控室の自席で食事をとってください。

(注5) デザイン学部では実技及び面接のいずれか一方でも受験しない者は、入学者選抜の対象から除きます。

(注6) 出願者数により時間割を変更する場合があります。確定した時間割は、受験票の印刷が可能になった旨のメール及び本学ウェブサイトで周知しますので必ずご確認ください。

(3) 選抜方法・配点

学部	学科	個別学力検査等	配点	配点合計	備考	
保健福祉学部	現代福祉学科	個人面接*及び書類審査 ※試問（英語、公民）を含む	100	100	試問（公民）は、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」又は「倫理、政治・経済」から1科目を選択してもらいます。	
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技（与えられた条件（図や文章）を満たす立体物の描写）	200	400	試験時間：120分 B3ケントボード使用	
		個人面接及び書類審査	200			
	工芸工業デザイン学科	実技（鉛筆デッサン）	300	500	試験時間：120分 B3ケントボード使用	
		個人面接及び書類審査	200			
	建築学科	建築学科	実技（与えられた条件（図や文章）を満たす図形の作図）	150	300	試験時間：120分 A3用紙使用
			個人面接及び書類審査	150		

（注）令和6年度大学入学共通テストは課しません。

(4) 評価基準

各学科の評価基準は、Iの入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）をご参照ください。

(5) 試験会場

岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学

(6) 受験上の注意事項

① 試験当日の持参品について

ア 試験当日の持参品は次のとおりです。

学部	学科	持参品
保健福祉学部	現代福祉学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）、黒鉛筆、消しゴム（ねりゴム可） ※羽ぼうきの使用も認めます。イーゼル、カルトンは使用できません。
	工芸工業デザイン学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）、黒鉛筆、消しゴム（ねりゴム可） ※羽ぼうきの使用も認めます。イーゼル、カルトンは使用できません。
	建築学科	受験票（インターネット出願システムから印刷したもの）、黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム

イ 受験票について、試験日の5日前までに印刷が可能になった旨のお知らせを本学ウェブサイトへ掲載するとともに、同じ内容をインターネット出願システムに登録されたメールアドレスにも送信しますので、各自ダウンロードし、印刷のうえ持参してください。（A4用紙、カラー、ページの拡大・縮小はしない。）

また、メールが受信できていなくても、本学ウェブサイト上記のお知らせが掲載されていれば、受験票の印刷は可能です。

なお、試験日の5日前を過ぎても受験票の印刷ができない場合は、本学教学課入試班へ連絡してください。

ウ 受験票は、試験実施時に、指示に従って試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で受験票の交付又は指示を受けてください。

受験票は入学手続の際に必要なとなりますので、試験後も大切に保管してください。

エ 上記アのほかに試験時間中に机の上に置けるものは、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式を除く。）、時計（時刻表示機能のみで、秒針音のしないもの）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。ただし、実技の道具として使用することは認めません。）、目薬です。

なお、デザイン学部ビジュアルデザイン学科及び工芸工業デザイン学科の実技のみ筆箱を机の上に置くことを認めます。これ以外のものを置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

オ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、さっぴつ等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。

携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室（面接にあっては面接控室）に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切りかばん等にしまい身につけないでください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。

カ 試験監督者が受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう試験監督者が指示することがあります。

キ 試験室（面接にあっては面接控室）における受験者間の物品の貸借は一切認めません。

ク 面接控室及び面接終了者控室では、待機中の読書（教科書やメモも可とする。ただし、電子書籍を除く。）や水分補給を認めます。また、保健福祉学部現代福祉学科の午前の部の受験者の面接終了者控室では昼食を取ることも認めます。

なお、待機中に本や水筒等をかばん等から取り出すときは、必ず試験監督者の許可を受けてください。

ケ 必要に応じて昼食を持参してください。試験当日、学生会館内の食堂は利用できません。

コ 試験会場における忘れ物について、試験実施日から一定の期間は本学で保管します。一定の期間を過ぎた後は廃棄しますので、あらかじめご了承ください。

② 不正行為について

ア 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなり、全ての試験成績が無効となります。また、不正行為の内容によっては、警察に被害届を提出する場合があります。

なお、次のことをすると不正行為となります。

- ・ 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ・ カンニングをすること。
- ・ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ・ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ・ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 「解答始め。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類を使用すること。
- ・ 試験時間中に、定規、コンパス、さっぴつ等の補助具を使用すること。
- ・ 「解答やめ。」の指示に従わず、解答を続けること。

イ 上記ア以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記アと同様です。

- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類や定規、コンパス、さっぴつ等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ・ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・ 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

③ その他

ア 試験当日は受験者以外の大学構内への入場を認めておりません。ただし、自家用車による送迎については、一時的に構内への乗り入れを認めますが、本学正門から入構し、乗降後は速やかに退出してください。

イ IIの3の(6)の事前相談により付添が認められた場合に限り、付添人（保護者等）控室を設置します。（利用場所等の詳細は、別途通知します。）

ウ 事前に試験会場の下見をする場合は、10月6日（金）の14時から16時までの間に、試験会場に掲示してある配置図により、各自が受験する試験室（面接にあつては面接控室）及び試験実施本部を確かめておいてください。ただし、試験会場の建物内には入ってはいけません。下見の時間帯は、試験会場の準備の都合上、変更することがあります。

エ 所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、入学志願者への緊急連絡が必要となった場合は、本学ウェブサイトでお知らせします。

オ その他連絡の必要が生じた場合は、インターネット出願システムに登録された連絡先に通知します。

5 合格者発表

(1) 発表日時

令和5年11月1日(水) 10時

(2) 発表方法

本学ウェブサイト合格者の受験番号及び合格通知書の取得方法を掲載します。(このページのことを以下「合格発表ページ」という。)(掲示による発表はしません。)

電報、電話、郵便、電子メール等による問い合わせには応じません。

(注) 試験当日、試験会場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、その責任を負うことはできません。

(3) 合格者に係る留意事項

- ① 一つの国公立大学・学部(ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の総合型選抜の合格者は、当該総合型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。
- ② 特別の事情により本学の総合型選抜の入学を辞退する場合は、令和5年11月20日(月)までに「総合型選抜入学辞退願」(様式は任意。本人が署名、押印したもの)を本学学長に提出し、許可を受けた場合に限り、入学辞退を認めます。
- ③ 総合型選抜に係る入学予定者に対して、スムーズに大学教育に移行できることを目的に、本学では入学前の準備教育を行います。入学までの期間、各学部・学科の特性に応じて体験講義、グループ討議あるいは課題提出などを行っています。

(4) 合格しなかった者の取扱い

総合型選抜に合格しなかった者で国公立大学の一般選抜の受験を希望する者は、分離分割の前期日程・後期日程又は公立大学中期日程の併願について、自由に各1つ、合計3つまでの大学・学部を選んで出願できます。

本学の特別入試及び一般選抜の受験を希望する者は、各入試区分の学生募集要項(本要項とは別に本学ウェブサイトに掲載予定)に定められた出願手続をとって受験してください。

6 個人別入試成績の開示

総合型選抜における個人成績は、令和6年4月中旬から開示する予定です。開示の手続、方法等については、本学ウェブサイト別途公表します。なお、開示には本学受験票の原本が必要です。

7 感染症対策に係る本学の対応について

本学ウェブサイトに掲載しますので、必ず事前にご確認ください。

なお、掲載内容については今後、文部科学省等の通知により一部変更になる場合がありますので、最新の情報をご確認ください。

Ⅲ 入学手続、初年度納付金等

1 入学手続

(1) 入学手続期間

令和5年11月16日（木）～令和5年11月20日（月）（必着）

(2) 入学手続方法

入学手続の詳細については、合格発表ページをご確認ください。

書類等は、簡易書留速達扱いの郵送により提出してください。ただし、入学手続期間最終日に限り、直接持参を認めます。なお、受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに本学教学課入試班までご連絡ください。

(3) 提出書類等

入学手続に要する書類等	作成方法等
① 本学の受験票	
② 宣誓書	本学所定の様式を使用し、必要事項を記入の上、必ず押印してください。
③ 住民票記載事項証明書 (証明願)	Ⅲの2の(1)の①の「岡山県内の者」に該当する者のみ必要です。 本学所定の様式（市区町村の様式ではありません。）を使用し、居住地の市区町村の関係窓口へ提出して証明を受けてください。
④ 入学料	Ⅲの2の(1)の額の入学料を納付する必要があります。納付方法については合格発表ページをご確認ください。
⑤ 写真1枚 (学生証作成用)	縦4cm×横3cmの写真（正面上半身無帽、背景なし、カラー）の裏面に学科名、氏名を記入してください。
⑥ 卒業証明書等	入学手続期間内に提出できない場合は、令和6年3月31日（日）までに提出してください。

(4) 入学手続先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学事務局教学課入試班

(5) 入学手続上の注意事項

- ① 一つの国公立大学・学部に入入学手続を完了した者は、それ以降これを取り消して他の国公立大学・学部に入入学手続を行うことはできません。
- ② 入学手続は、所定の期日までに完了してください。期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。
なお、総合型選抜の合格者で、特別の事情により入学を辞退する場合は、Ⅱの5の(3)の②に記す「総合型選抜入学辞退願」を必ず提出してください。
- ③ 必要な書類の全てがそろっていないものは受付できませんので、書類等の提出の際には十分に確認してください。
- ④ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受付できませんので、郵送の場合は、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ⑤ 受付をした入学手続書類は返還しません。
- ⑥ 入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業（修了）しないなどの事由が生じた場合は、入学許可を取り消すことがあります。

2 初年度納付金

(1) 入学料

入学手続の際には、次の額の入学料を納付する必要があります。なお、国の高等教育の修学支援新制度の申請をした者については、入学料納付前に本学教学課入試班にお問い合わせください。

- ① 岡山県内の者 188,000円
- ② 上記以外の者 282,000円

(注1) 「岡山県内の者」は、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- (1) 令和5年4月1日から引き続き岡山県内に住所を有している者
- (2) 令和5年4月1日から配偶者又は1親等の親族が引き続き岡山県内に住所を有している者

(注2) 「岡山県内の者」は、居住地の市区町村長の証明を受けた「住民票記載事項証明書」により判断します。

なお、(注1)の(2)に該当する者及び令和5年4月2日以降に県内で移動した者は、追加で提出していただく書類がありますので本学教学課入試班へお問い合わせください。

(注3) 入学料の改定があった場合は、改定後の入学料が適用されます。

(注4) 納付された入学料は、次の(1)から(3)までの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は入学料相当額とします。入学料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は本学教学課入試班へ連絡し、令和6年3月20日(水)までに必要な手続(入学料納付証明書が必要です。)をとってください。(2)の場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

- (1) 入学料を納付したが、入学手続をしなかった場合
- (2) 入学料を納付したが、入学手続が完了しなかった場合
- (3) 入学料の額を誤って納付した場合

(2) 授業料

- ① 金額(年額) 535,800円
- ② 納付方法 入学後に、前期、後期の2回に分けて納付していただきます。
- ③ 納付時期 前期 7月末、後期 11月末

(注) 授業料は、原則として口座振替により納付していただきますので、入学時に必要な手続をお願いします。納付された授業料は返還しません。

なお、授業料の改定があった場合は、改定後の授業料が適用されます。

(3) 保険料、後援会費、同窓会費

① 金額

学部	学科	保険料※	後援会費	同窓会費
保健福祉学部	現代福祉学科	4,730円 (4年分)	64,000円 入会金20,000円+ 会費(4年分)44,000円	10,000円 (入会金)
デザイン学部	全学科共通	4,660円 (4年分)		

※学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険の保険料((公財)日本国際教育支援協会が主催)

- ② 納付方法 入学手続時に、金融機関から納付してください。納付方法については、別途お知らせします。ただし、入学を辞退した場合は返還します。

3 その他

(1) 奨学金

経済的理由で修学が困難な優れた学生に対し、独立行政法人日本学生支援機構をはじめとする様々な奨学金制度があります。

奨学金制度の詳細は、各団体のウェブサイト等で確認してください。

(2) 授業料の減免制度

経済的理由により、授業料の納入が困難であると認められる者等に対し、授業料の全額又は一定額を免除する制度があります。国の高等教育の修学支援新制度の対象となる者については、入学後に本学教学課学生支援班にお問い合わせください。

(3) アパート等

アパート等については、本学教学課学生支援班で情報を提供します。

(4) アルバイト

本学に申し込まれたアルバイトの求人については、本学教学課学生支援班で情報を提供します。

(5) 個人情報の取扱い

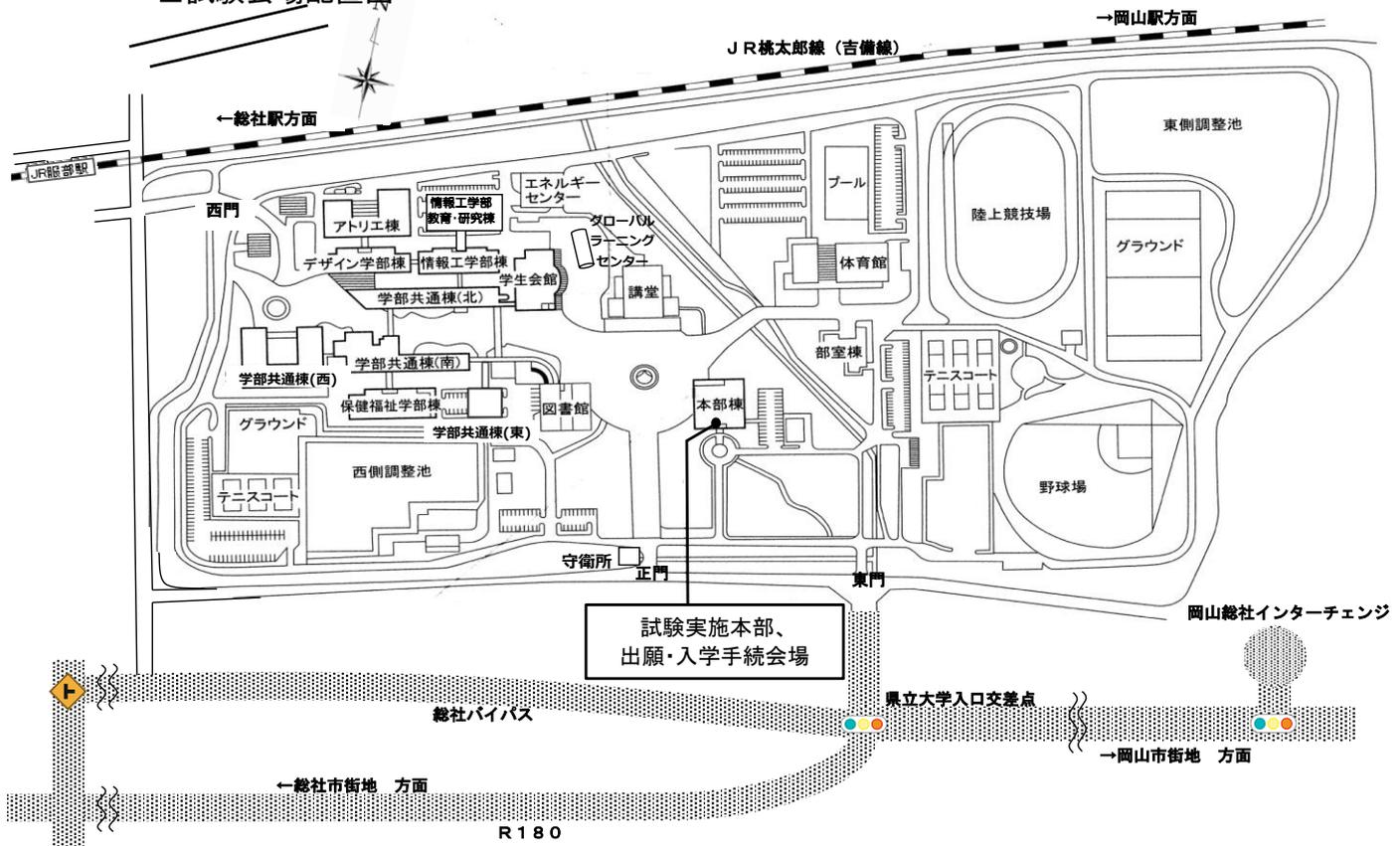
本学が入学者選抜等において取得する個人情報は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び本学の規程に基づき取り扱うとともに、次の業務で利用します。

- ① 出願に当たって知り得た個人情報は、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務を行うために利用します。また、入学者選抜で用いた試験成績等の個人情報は、選抜方法の検討や大学教育の改善のための調査・研究、入試情報の提供（合格者の最高点及び最低点（総合得点）の公表、実技の模範解答の公表（本学ウェブサイトへの掲載、オープンキャンパス等入試説明会での閲覧、過去の問題を掲載する書籍の出版社への写しの交付）等）に関する業務を行うために利用します。ただし、調査・研究結果の発表及び入試情報の提供に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ② 本学の入学手続を完了した者の個人情報は、入学前における準備教育、入学後における教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請、就職支援等）及び授業料等の徴収に関する業務を行うために利用します。
- ③ 本学合格者の個人情報は、本学の関係団体である同窓会及び後援会から本学合格者に連絡を行うために利用します。
- ④ 上記のうち一部の業務を本学から業者に委託することがあります。業務委託に当たり、当該業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- ⑤ 総合型選抜では、国公立大学の一般選抜における合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号及び大学入学共通テストの受験番号に限って、総合型選抜の合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。

IV 試験会場案内

■試験会場配置図

※大学の敷地内は、全面禁煙です。



■試験会場案内図



《交通案内》

- JR桃太郎線 (吉備線) ・ 服部駅 (JR岡山駅から約30分、JR総社駅から約8分) 下車、徒歩5分
- 岡山自動車道、岡山総社ICから約2.5km
- 岡山市街から約1.8km (国道180号経由)、倉敷市街から約1.2km (国道429号経由)

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

岡山県立大学事務局教学課入試班

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地

TEL 0866-94-9161 (直通)

0866-94-2111 (代表)

ウェブサイト <https://www.oka-pu.ac.jp/>

電子メール nyushi@oka-pu.ac.jp